

ふるさと納税便りvol.4

ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)をいただいた皆様へ

秋涼の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
皆様には、寄附金として本市に対して大変温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

この度、「ふるさと納税便りvol.4」を発行いたしましたので、お届けいたします。

ふるさと納税便りは、皆様から頂戴した貴重な寄附金を、どのように活用させていただいたのか、その内容についてお知らせするものです。

今回お届けしているvol.4においては、平成23年に頂戴した寄附金を活用し、平成24年度に実施した事業内容について掲載しています。

また、平成24年に頂戴した寄附金は、平成25年度の事業において大切に活用させていただいております。その内容については、来年お届けする予定のvol.5においてご紹介させていただきたいと考えておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

往年の佐賀市(昭和50年の風景)

下の写真は、昭和51年の若楠国体に向けて、準備や街の整備が進んでいる頃の佐賀市の様子です。
この後、佐賀県庁前にあった佐賀市役所は、現在の佐賀駅前に移転します。



佐賀県庁から北方面の風景
(正面は、移転前の旧佐賀市役所)



南方面から望む旧佐賀駅
(奥には、現在の佐賀駅の屋根が小さく見えています。)

1. ふるさと応援寄附金

H24年度の使いみちについてのご報告

平成23年1月～12月に頂戴した寄附金3,948千円については、下表のとおり、平成24年度実施事業に活用させていただきました（一部は、平成23年度実施事業に活用済み）。

用途指定をいただいたものはご指定内容をもとに、用途指定がなかったものは、(1)～(5)の5つの寄附メニューに振り分けて、活用させていただいております。

次のページからは、詳しい使いみちについてご報告いたします。

メニュー項目	H23.1～H23.12 寄附金合計	H24年度事業 活用額(決算)	備考
(1) 晩秋の佐賀の風物詩「バルーン大会」	72,000円	161,000円	
(2) 市立図書館での生涯学習のお手伝い (図書の実践)	20,000円	109,000円	
(3) 多布施川の桜並木の保全	106,000円	195,000円	
(4) さあ！大人の出番です。 「こどもへのまなざし運動」	102,000円	191,000円	
(5) 魅力ある地域文化保存継承への支援	15,000円	104,000円	
(6) 市長おまかせコース(指定なし)	445,000円	—	(1)から(5)へ振り分け
(7) 大隈記念事業	250,000円	0円	積立てを行い、後年度に活用
(8) 川副桜ロードの維持管理	1,330,000円	790,000円	多額の寄附により、数年に分けて活用
(9) 図書館富士館の図書の充実	1,000,000円	250,000円	多額の寄附により、数年に分けて活用
(10) 佐賀市への定住促進	88,000円	88,000円	
(11) 震災避難者支援	500,000円	(500,000円)	H23事業に活用済
(12) 鷹の羽記念植樹等関連事業	20,000円	(20,000円)	H23事業に活用済
合計	3,948,000円	1,888,000円	

ご寄附の活用状況

1. 晩秋の佐賀の風物詩「バルーン大会」

平成24年10月31日(水)から11月4日(日)まで、アジア最大の熱気球イベント「2012佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」が嘉瀬川河川敷をメイン会場として、佐賀平野一帯で開催されました。15ヵ国・地域から100機のバルーンが参加して熱戦が繰り広げられ、期間中、約80万人のお客様にご来場いただくことができました。

平成25年1月20日(日)には、「環境にやさしい取り組み」として、バルーン会場に車などでご来場いただくお客様や、バルーン大会で使用するプロパンガスなどから排出される二酸化炭素を削減し、地球温暖化の防止に貢献することを目的に、バルーンパイロットなどにより、桜の木200本の植樹を実施しました。

この植樹も、今回で3年目の取り組みとなりましたが、佐賀の大空に浮かぶバルーンと子どもたちの笑顔がずっと続くことを願い、今後も継続して実施してまいります。

皆様から頂いた寄附金は、大会広報パンフレットの作成や植樹の経費の一部として大切に活用させていただきました。

舞い上がるバルーン



植樹の様子



2. 市立図書館での生涯学習のお手伝い

今回頂きました寄附金で、絵本を中心に90冊の児童用の資料を購入し、多くの方にご利用いただきました。夏休みには、これらの本を用いた特設コーナーを設置し、多くの子どもたちが図書館に足を運んでくれ、特設コーナーの資料が殆どなくなるほどの盛況ぶりでした。

期間中には、たくさんのお子様たちから「おもしろかったよ。」とか「また来るね。」といったお手紙も頂戴しております。

図書、とくに児童図書は思いやりの心、やさしさ、勇敢さ、大切な想像力を育てます。図書館での本に触れる機会の提供により、佐賀市の将来を担う子どもたちの人間形成の中で、大きな役割を果たしていくと考えています。

玄関正面の特設コーナー



特設コーナーに設置した児童図書の数々



ご寄附の活用状況

3. 多布施川の桜並木の保全

多布施川河畔公園は、佐賀市中央部を流れる多布施川沿いの公園で、約6キロにおよぶ桜並木には、約3,000本の桜が植樹されております。

毎年、花見の時期には10種類以上の桜が咲き誇り、桜の花が川面に写りこむ景観は、多くの市民の方々に親しまれており、佐賀を離れられた方々にとっても、よき思い出の風景であると思います。

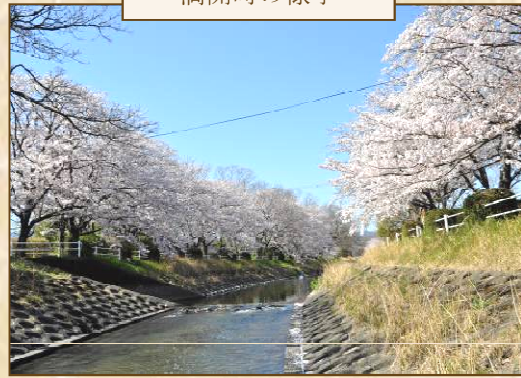
しかし、代表的な桜の種類であるソメイヨシノの寿命は約50年から60年と言われており、倒木の恐れのあるものや、樹勢が衰えているものが目立つようになってきました。そこで、平成24年度より「桜再生プロジェクト」を立ち上げ、桜の苗木の植樹を行っております。

今回は、寄附金により、8本のソメイヨシノ、2本のギョイコウサクラを植樹することができました。ギョイコウサクラは、緑色の花を咲かせる珍しい品種で、今後、花見に訪れる人々を楽しませてくれると思います。

植栽後の様子



満開時の様子



4. さあ！大人の出番です。「こどもへのまなざし運動」

佐賀市では、すべての大人が子どもの育成に関心を持ち、かつ、主体的に関わる社会“子どもへのまなざし100%のまち”の実現を目指し、市民総参加で子どもを育む市民運動として「子どもへのまなざし運動」を推進しており、今年で5年目を迎えました。

ふるさと納税により頂いた寄附金は、「子どもへのまなざし運動」の市民啓発物品として、ベストやボランティア腕章の作成に使用させていただきました。

このベストやボランティア腕章は、地域で子どもたちの見守り活動をしたり、地域行事やイベント等で役員として活躍いただいている地域のみなさまにご着用いただいております。



交差点で子どもたちの見守り活動時にベストを活用（金立校区：長生会のみなさん）

ボランティア腕章を着けて、子どもたちとのしめ縄作りの準備
（神野校区：青少年健全育成協議会のみなさん）



ご寄附の活用状況

5. 魅力ある地域文化保存継承への支援

佐賀市には、北部の森林や産地、温泉、南部の有明海や筑後川、そして市街地の城下町など、多種多様な生活の場があります。そこには、地域固有の生活文化や歴史・文化など(地域資源)があり、地域住民によって引き継がれています。

「地域文化保存・継承支援事業」は、これらの地域資源を次世代に引き継ぐことを目的として、地域資源を保存・継承するための活動をしている団体に対し支援をするものです。

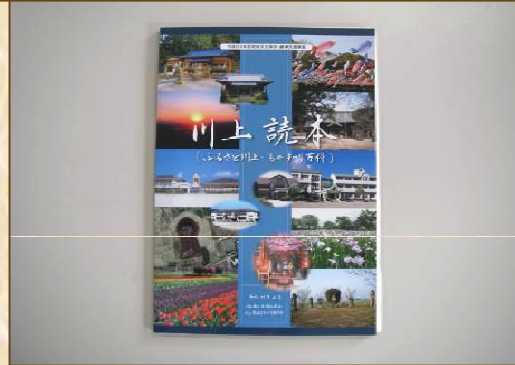
平成24年度は、次の5事業の補助に、「ふるさと応援寄付金」を活用しました。

- 1) 古湯鉦浮立の法被の新調
- 2) 歴史資料「蓮池藩歴代藩主掛軸9幅」のレプリカ作成
- 3) 「わがまち神野」冊子製作・出版
- 4) 「歴史の宝庫 佐賀ん路を歩く」冊子製作・出版
- 5) 「川上読本」冊子製作・出版

H24.10 古湯鉦浮立



大和町川上地区の歴史や史跡、人物などを1冊に



6. 寄附者からの使途希望①

●川副桜ロードの維持管理

有明佐賀空港の北側に桜の名所「川副桜ロード」があります。延長1.7km、両側には400本以上の桜が彩り、満開時の景色は、まるでピンクの滑走路を連想させます。また、西側には約6,000株の芝桜も花を咲かせます。

平成24年度は、桜のよりよい成長のために防除、施肥を行い、桜10本を植樹、芝桜2,500株を補植しました。

また、来客者の増加に伴い、車が通行する際に支障となる枝の剪定も行いました。

今後も佐賀の玄関口として、また、憩いの場として多くの方に来ていただけるよう整備してまいります。

満開時の川副桜ロード



H25.3 花見を楽しむ市民

ご寄附の活用状況

6. 寄附者からの使途希望②

●図書館富士館の図書充実

佐賀市立図書館は「市民と共に育つ図書館」を基本理念として、市民の教養、文化の向上、教育、調査研究、趣味、娯楽レクリエーション等に資する資料を収集しています。

そのような中で、ふるさと納税制度により富士館を指定してご寄附いただきました財源で、「文学作品(一般9類)」を購入させていただきました。この選定は、寄附いただいた方が小説(フィクション作品)の作家であることから資料のジャンルを決めたところです。

多額の寄附をいただきましたので、4年に分けて使用させていただくこととし、平成24年度は198冊を購入いたしました。

利用者の方にも大変喜んでいただいております。



●佐賀市への定住促進

本市への定住促進を図るため、ホームページやSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)、情報誌等を活用した定住情報の発信に取り組んでいます。

その取り組みのひとつとして、首都圏と本市との間を、定住広告「さがぐらしはじめませんか」をボディにデザインしたトラックを走らせています。

首都圏にお住まいの佐賀市(佐賀県)出身の方に、このトラックを見てもらうことで、ふるさと“佐賀”を思い出していただき、また、首都圏から地方都市へ移住したいという方に対しても、PRしていきたいと思っています。



定住広告を貼り付けたトラック(両側に貼り付けています。)
佐賀と東京を週に1、2回往復しています。

2. ふるさと応援寄附金 H25年度の使いみちについて

平成24年1月～12月までに、3,328千円もの寄附金を頂きました。
このうち2,801千円について、下表のとおり平成25年度事業として実施してまいります。
なお、「市長おまかせコース」を選択されて使途指定がなかったものは(1)から(5)の寄附メニューに振り分けて、使途指定をいただいたものはご指定内容をもとに活用させていただきます。

具体的な活用内容については、当該期間に寄附いただいた方へ来年お届けする予定のvol.5にてご報告させていただきます。

メニュー項目	H24.1～H24.12 寄附金合計	H25年度事業 活用額(予算)	備考
(1) 晩秋の佐賀の風物詩「バルーン大会」	103,000円	342,000円	
(2) 市立図書館での生涯学習のお手伝い (図書の実践)	2,000円	241,000円	
(3) 多布施川の桜並木の保全	95,000円	334,000円	
(4) さあ！大人の出番です。 「こどもへのまなざし運動」	108,000円	347,000円	
(5) 魅力ある地域文化保存継承への支援	15,000円	254,000円	
(6) 市長おまかせコース(指定なし)	1,195,000円	—	(1)から(5)へ 振り分け
(7) 大隈記念事業	265,000円	—	積立てを行い、 後年度に活用
(8) 世界遺産登録推進事業	2,000円	—	積立てを行い、 後年度に活用
(9) 川副桜ロードの維持管理	1,355,000円	845,000円	多額の寄附により、 数年に分けて活用
(10) 佐賀市への定住促進	88,000円	88,000円	
(11) 図書館富士館の図書の充実	—	250,000円	多額の寄附により、 数年に分けて活用
(12) 市立小中学校の活動支援(成章中学校)	100,000円	100,000円	
合 計	3,428,000円	2,801,000円	

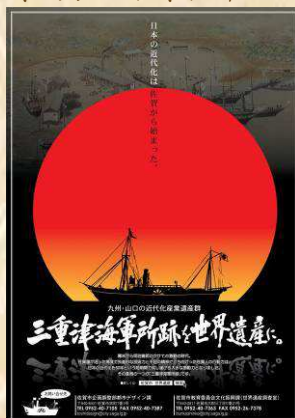
トピックス

その1 三重津海軍所跡が世界文化遺産に推薦！

寄附メニューのひとつである世界遺産登録推進事業に関して、本市の三重津海軍所跡を構成資産のひとつとする「明治日本の産業革命遺産」が、9月17日、日本の推薦候補として決定しました。

今後、世界遺産登録に向けて国際機関による審査が進められますが、地元の盛り上がりも重要となってきます。

市としても、引き続き、登録に向けて取り組んでまいります。



その2 寄附メニューを追加

昨年度、母校の市立中学校の活動を支援したいということで寄附をいただきました。

ご意見を踏まえて、寄附メニューのひとつとして追加することとしました。

対象は、佐賀市立の小中学校への支援といたします。具体的な使いみちについては、学校長が適切な対応をさせていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

寄附ご希望の方は、市へお問い合わせください。

その3 お礼の品を追加

5,000円以上寄附いただいた方に、佐賀ゆかりの特産品をお礼のひとつとしてお送りしていますが、今年度から、お礼の品を追加しました。

佐賀海苔、お菓子の詰め合わせ（生姜せんべい、丸房露など）、佐賀牛カレー・シチューセットなどからお選びいただけます。ご寄附いただきましたら、追ってご連絡いたしますので、いずれかひとつをお選びください。



発行：総合政策課(0952-40-7025)

寄附受付：秘書課(0952-40-7020)